

# 環境・上下水

## 自動車クリーンエネルギー化施策について

齋藤貴亮議員(フオ) ①公用車にアイドリングストップ装置を装備したがPR方法は。

②燃料電池車の水素ステーションなどの建設等に都が手を挙げた場合、市に誘致しては。

③クリーンディーゼル車が販売されて企業が導入した場合、補助できないか。

市長 ①車両後部にステッカーを張り、PRに努めている。②都からの誘致依頼があれば検討したい。

③国や都の施策と考えていることから、考えていない。

## 小川橋の改善や立川市清掃工場の移転問題などについて

立花隆一議員(公明) ①小川橋改善のスケジュールは。

②立川市清掃工場の移転問題については、隣接自治体として情報を共有化し、話し合う場を持つことが必要では。

③上水新町地域センター通り東側の道路の安全対策は。

市長 ①都に早期事業化を要望しているが、未定と聞いている。

②立川市から情報をもらい、必要な場合は協議をする。

③朝夕に通過交通が認められるため、注意喚起を行いたい。

## 循環型社会推進のためにリユースの仕組みを広げよう

津本裕子議員(公明) ①市が行ってきたリユースの評価は。

②不用品の絵の具等をリユース

する画材バンクを取り入れては。

③エコフェスティバル等で、リユース可能な衣類を海外に送るための袋を有料にし、意識啓発を進めては。

市長 ①ごみ問題に関心を持ってもらえるよう、ごみゼロ・フリーマーケット等を開催し、約6千5百人の来場者があった。

②管理方法や手続等が整備できれば有効な方策と考える。

③よい提案なので、ごみ減量推進実行委員会で検討するよう提案したい。

## 家庭ごみの戸別収集有料化について

佐野郁夫議員(政和) ①市の方針は。

②有料化を実施している多摩

# 教育・文化

## 小平第十一小中学校の安全通学と通学路について

川里春治議員(政和) ①スクールガードの現状は。

②東京街道と新青梅街道の間の小金井街道に横断歩道を設置できないか。

③地域児童見守りシステムモデル事業の進捗状況は。

④不審者情報の連絡体制は。

教育長 ①1日に2回学校及び周辺警備をしている。

市長 ②小平警察署から見通しは厳しいと聞いている。

教育長 ③11月12日から六小と八小で実証を開始した。

④保護者等からの情報を学校



ごみの減量を啓発するエコフェスティバル

校時の見守り等がされている。

③9月から事業を開始し、事業計画の調整等を進めている。

地域児童見守りシステムと子ども中心の安全なまちづくり

華表 暁議員(共産) ①具体的な検証や第三者委員会の設置が必要では。

②モデル期間としては短過ぎるが、平成20年度以降の市の負担について総務省の説明は。

教育長 ①2学期の参加状況や利用状況のアンケート等で評価のアンケート結果も踏まえて、導入の検討を進めていく。

②有料化に伴い戸別収集をしている市がほとんどで、ごみの減量が図られている。

③行政と委託業者間での収集経路・時間等の調整、市民の理解を得ることが課題で、解決に向けた調整が重要と考える。

## 子どもが伸び伸びと育つための安全対策を

日向美砂子議員(緑ネ) ①市や教育委員会の基本方針は。

②児童・生徒への対策は。

③地域児童見守りシステムモデル事業の課題は。

市長 ①地域社会全体で目を配り、犯罪を発生させないまちづくりに努めることである。

教育長 ①学校だけでなく地域も一緒に子どもたちの安全を守っていく方針である。

②防犯カメラやセーフティ教室、ボランティアによる登・下

②あゆみ教室の利用人数は。

③民間のフリースペース等をホームページで紹介するほか、空き家等を居場所として活用するなどの支援はできないか。

教育長 ①平成19年度の1学期では、小学生22人、中学生75人である。

②10月31日現在で小学生5人、中学生25人である。

市長 ③検討していない。相談に関しては市のホームページから東京都ひきこもりサポートネットへリンクを張っている。

子どもたちが一層学び成長できる学校教育条件の改善を

佐藤 充議員(共産) ①全国学力テストの結果をどう生かしていくのか。

②教育委員会は教育内容にどの程度関与できるか。

③35人学級の検討状況は。

教育長 ①学校の実態に基づいた改善策を講じ、児童・生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげていく。

②校長が編成した教育課程を受理し、適正に実施されるよう指導・助言等を行っている。

③学級編制の権限が都にあるため、早期実現を求めていく。

全国学力テストの結果を今後の小平市の教育にどう生かすのか

宮寺賢一議員(政和) ①本人へはいつ結果を手渡したのか。

②調査結果を公表するのにか。

③生活習慣等と学力の関係は。

②各学校ごとに傾向や課題は保護者に公表しているが、順位等を公表する予定はない。

③大きくとらえたと関係があるようだが、今回の結果のみで結論づけることは適切ではない。

中央教育審議会で検討されている新学習指導要領について

宮寺賢一議員(政和) ①新学習指導要領の内容は。

②審議会は授業時間を減らし過ぎたことなど5点を反省点としているが、教育委員会の考える最も反省すべき点は。

③21☆こだいらの教育改革アクションプランを見直す考えは。

教育長 ①生きる力を大きくむための具体的な手だての確立をねらいとしている。

②総合的な学習時間のねらいが達成されない状況があった。

③今すぐの見直しは考えていないが、今後の取り組みは学校と研究したい。

今こそ少人数学級の実施を検討すべき

宮寺賢一議員(政和) ①効果をどう考えるか。

②小学3年生までを35人学級にした場合の経費は。

③教育委員会が市費で35人学級を提案した場合、市の対応は。

教育長 ①すぐに学力向上に効果があるとは考えていない。

②教員人件費や不足教室をプレハブで対応する場合の建築費等を試算すると、総額で約2億2千3百万円の負担になる。

市長 ③市費での負担は考えていないが、仮に教育委員会で検討する場合は事前に調整を図り進めていくものとする。

学校用地の再測量はなぜ必要なのか、公費のむだ遣いは

宮崎照夫議員(政和) ①学校用地購入の実情は。

②第六中学校用地を再測量する必要性は。

③再測量実施の計画は。

教育長 ①多くは実測を原則としているが、公費面積による売買契約もあった。

②用地確保の際、周囲に迂回路をつくり学校境界フェンスをセッティングしたので、官民の境界を確認するために行った。

③残り9校あるので、順次境界の確定を進めたい。

滝口幸一議員(フオ) ①狭山境緑道を利用して自転車レースを開催できないか。

②レースを実施し、健康・環境都市としてPRしては。

③主要幹線道路に自転車専用レーンを設置できないか。

教育長 ①南北の交通を一時的に停止するなど課題が多く、実現には時間を要する。

②定着すれば町おこしの一つとしてPRが可能である。

市長 ③世田谷区の実証試験の結果を検証するなど、設置について研究したい。

学校現場でのモニター・ペアレント対策について

佐野郁夫議員(政和) ①保護者からの理不尽なクレームに対する対応は。

②教職員の保護者に対する不適切な対応を改善する方策は。

解決する仕組みを導入しては。教育長 ①話をしっかり聞き、誠意をもって説明することが大切と考える。

②①の対応のほか、管理職への報告、連絡、相談を確実に行うよう研修をしている。

③市の顧問弁護士に依頼しており、適宜助言を得ている。

# 公園

## ミニ公園について

川里春治議員(政和) ①ミニ公園の総面積は。

②遊具の安全や雑草対策は。

③小規模公園をふやさずに中規模・大規模公園を考えると。

市長 ①300平方メートル未満の公園は2万8千35平方メートル。

②遊具は専門業者の点検や職員のパトロール等で安全管理を行っており、雑草は週1回草取り等を行っている。

③開発に伴う公園緑地の提供は、事業面積の6%と条例で定められているため困難である。

▲遊具の修繕

